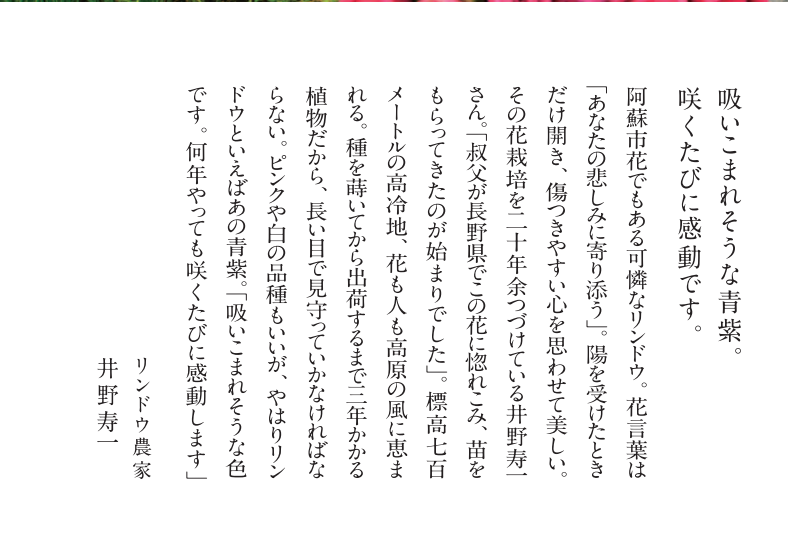




人の暮らしの、
 ハッピーな場面に欠かせない。
 温泉の熱を温風に変え、ハウスのなかに送り
 こんで栽培。それが村上二成さんのバラづ
 くりです。火山に温められた湯で華麗な
 花を一年中咲かせるわけだ。薔薇ノ木ニ
 薔薇ノ花咲ク ナニゴトノ不思議ナケレド
 と詠んだのは明治生まれの詩人北原白秋
 でしたが、たしかに、なにごとの不思議は
 なく咲いているのに素気ない木から生ま
 れるバラのあの絢爛さは奇蹟のようでも
 ある。育て上げた花束を抱く栽培名人も、
 武骨に見えてどこか妖艶……。バラづくりの
 いちばんの魅力は？「人の暮らしの、ハッピー
 な場面に欠かせない」ところでしょうか」

バラ農家 村上二成



吸いこまれそうな青紫。
 咲くたびに感動です。

阿蘇市花でもある可憐なりんどう。花言葉は
 「あなたの悲しみに寄り添う」。陽を受けたとき
 だけ開き、傷つきやすい心を思わせて美しい。
 その花栽培を二十年余つづけている井野寿一
 さん。「叔父が長野県でこの花に惚れこみ、苗を
 もらってきたのが始まりでした」。標高七百
 メートルの高冷地、花も人も高原の風に恵ま
 れる。種を蒔いてから出荷するまで三年かかる
 植物だから、長い目で見守っていかなければな
 らない。ピンクや白の品種もいいが、やはりリン
 ドウといえはあの青紫。「吸いこまれそうな色
 です。何年やっても咲くたびに感動します」

りんどう農家 井野寿一



庭がそのまま
 道路に躍り出た。
 この道はなぜこんなにほのぼのするのだろう、
 あ、そうか、花のせいだ。水仙、パンジー、
 向日葵、サルビア、秋桜、ケイトウ、彼岸花、
 葉牡丹……季節の花々がずらりと並ぶ。
 「まるで庭がそのまま道路に出て行ったよう
 です」と、うまい言い方をした人もいる。
 大塚弘子さんが退職を機に道路の草刈り
 からはじめ、花を植え、それが地域全体の
 運動にまで定着。環境美化は高く評価され、
 県知事賞も得た。「ぼくは草刈り専門で
 すがね」という大塚國勝さんも活動の中
 心のひとり。いずれはみんなが人生の記念
 の木を植える、などの計画も思案中です。

和みの花みち会 大塚國勝・弘子

火の国阿蘇の
 恵みのブランド

然
 zen
 A s o C i t y

阿蘇の自然を舞台に繰り広げている人びとの営みこそ
 大きな訴求力を持っている、という考えで2013年秋に
 スタートした「火の国阿蘇の恵みのブランド-然」。現在、
 この活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作し
 ており、このページでも順次ご紹介いたします。ご期待ください。

あるがまま、という貴さ。
 人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、
 阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局
 (阿蘇市観光まちづくり課)
 TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com



CONTENTS もくじ

- 04 **特集** 阿蘇医療センター開院！
- 10 フラッシュニュース - 果実堂と農業振興協定 -
- 11 まちの話題
- 16 市役所からのお知らせ
 - ▶ 児童扶養手当等の現況届
 - ▶ 指定管理者募集
 - ▶ マイバッグ利用推進 ▶ 希少動植物採取禁止
- 19 人権作文 ▶ 松永敏人さん
- 20 ふるさと納税・A S O環境共生基金
- 21 自衛官・熊本県警察職員募集
- 22 暮らしの情報
- 25 やまなみハイウェイ開通 50 周年記念レコラム
- 26 自慢の学校 ▶ 内牧小学校
- 27 大事にしたい、懐かしい阿蘇の生活 No.29
- 28 図書館へ行こう！始めよう、家読（うちどく）
- 29 阿蘇世界文化遺産リレーコラム ▶ 西原村
- 30 暮らしカレンダー・お慶び・ご寄付
- 32 地産地消クッキング ▶ 根菜のカレー煮
さわやかフレッシュマン ▶ 中山 翔さん



一昨年の豪雨災害で浸水被害などに見舞われた阿蘇中学校で7月11日、災害から2年になる日に合わせ、復興支援に関わった方々への感謝の気持ちを届けようと、生徒たちがメッセージを書き綴った風船を飛ばしました。

災害を経験し、多くのことを学んだという生徒は「多くの支えがあり今の私たちがいる。この経験を次の世代に引き継いでいきたい」と話していました。

夢を追いかける青少年の声を届けます -

夢を追いかけて

私の夢は、建築士になってお父さんの後をつぐことです。私のお父さんは、家に住む人が気持ち良く住めるように工夫して家を建てています。お父さんのつくった家に行ってみました。私も住んでみたくになりました。お父さんがお客さんに家のことを教えていました。そんなお父さんの姿を見て、私もお父さんのような、お客さんのことを考えた家が建てられる建築士になりたいと思うようになりました。

わたなべ あみ
渡邊 亜美 さん

阿蘇小学校・6年